

令和6年第4回(7月)臨時会

7月臨時会は、7月19日に開催されました。提出された議案は補正予算2件で、審議の結果、全会一致で原案可決しました。

主な内容は次のとおりです。

◎令和6年度二本松市一般会計補正予算

- ・二本松駅南住宅団地の一般分譲の開始に伴い、歳出において、宅地売却原価に対して不足する収入額を補うため、住宅団地造成事業会計繰出金を増額するとともに、歳入においては、令和5年度決算からの繰越金を増額しました。

歳出の主なもの

○土木費

- ・住宅団地造成事業繰出金の増

9,926万円

◎令和6年度二本松市宅地造成事業会計補正予算

- ・二本松駅南住宅団地の一般分譲の開始に伴い、収益的収入において、宅地売却収益及び一般会計補助金を増額するとともに、収益的支出においては、宅地売却原価を増額しました。

令和6年度 市議会議員研修会 7月31日

令和6年度の二本松市議会議員研修会は、議員資質の向上及び議会のより一層の活性化を図ることを目的とし、青森大学社会学部教授・早稲田大学マニフェスト研究所 招聘研究員佐藤淳氏を講師に招き、「『対話する議会・議員』を目指して～『SOUNDカード』の議会での活用法～」を演題に開催しました。

講義では、①議会と市民との「対話」、②議員同士の「対話」(議員間討議)、③議会からの政策提言、④住民福祉の向上の「政策サイクル」のブラッシュアップに向けて、政策提言のフォローの仕組みの構築や「政策サイクル」の質を向上させる手法として、SOUNDカードを活用した市民意見の聴取と議員間討議の手法について、他議会の取り組みを参考にしつつ説明がありました。

また、演習では、議員間討議の最初のステップである「対話(意味づけの共有)」についてSOUNDカードを活用し、「議員のなり手不足問題」をテーマにそれぞれの考えや思いについて話し合い、現状認識の共有とビジョンの策定を行いました。

議会基本条例では、市民の意見の把握と反映に努め、合意形成に向けて議員相互間の議論を尽くすよう努め、委員会は審議や審査、所管事務の調査の充実と積極的な政策立案・政策提案に努めると規定しており、今後の政策サイクルの質の向上に大いに参考となる研修会となりました。

※SOUNDカードとは…話し合いを活性化させるミーティング進行の補助ツール



講演：「対話する議会・議員」を目指して
～『SOUNDカード』の議会での活用法～

令和6年度 福島県市議会議員研修会 8月22日

福島市のパルセいいざかで開催された令和6年度の福島県市議会議員研修会に19人の議員が参加しました。

濱田 真里氏(Stand by Woman代表 女性議員のハラスメント相談センター共同代表)より「政治分野のハラスメントの防止に向けて～ハラスメントの実態から考える～」を演題に講演いただきました。

講演では厚生労働省が主なハラスメントとして注意喚起を行っている「パワハラ」、「セクハラ」、「マタハラ」についての政治分野における事例等や、予防・解決するために必要な枠組み、ハラスメント対策を取っている福島県内議会の状況等の話を聞くことができました。ハラスメントは行為者が無自覚だったりする場合も多く、やはり学び続けることが重要であり、「議員」という立場上、地域や市民と密接な関係を築いていくことは非常に大切であります。常に他者の人格や人権を尊重した言動を心がけなければならないということを改めて考えさせられる研修会となりました。



講演：「政治分野のハラスメントの防止に向けて～ハラスメントの実態から考える～」